

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

BATPOST

(一社) 広島県中小企業家同友会 福山支部報

2025

11
NOVEMBER2025
10/3
FRI

新会員オリエンテーション



Contents

- 新会員紹介 ————— P.01
- 新会員オリエンテーション ————— P.02
- 経営フォーラム ————— P.03-04
- 障全交in青森 ————— P.05
- 地区会だより ————— P.05-10
- 部会だより(青年部) ————— P.11
- 部会訪問 ————— P.12
- 委員会だより(経営労働委員会) ————— P.12
- 同好会 ————— P.12
- どういうグルメ? ————— P.13
- 支部理事会報告 ————— P.14
- 行事カレンダー ————— P.15

県スローガン

Human First!

～新時代へ挑戦～

福山支部スローガン

私たちが創ります私たちの学び舎を

～いまこそ主体的に動こう～



(一社) 広島県中小企業家同友会 福山支部報
発行責任者 広報委員長 春名 孝一郎

〒720-0066 福山市三之丸町8-16 福山ニューキャッスルホテル B1F
TEL 084-923-0286 FAX 084-923-0284
URL <https://www.hiroshima.doyu.jp> e-mail fukuyama@hiroshima.doyu.jp

NEW
MEMBER

新会員ご紹介

7月
入会



卸売業
(株)モダン・プロ 福山店
営業課長代理
本瓦 義徳 (D)

紹介者

(有)三福林 田川 富生 氏

弊社は中四国に六店舗を構え、消耗品や厨房道具他、多岐に渡った商品を扱い、飲食業だけでなく地域に密着したあらゆる業種のお客様のお手伝いをしています。

地元において各業種で活躍される既存会員の皆様との交流により、成長へのヒントが得られる会だと思いつの度入会致しました。

9月
入会



自動車整備業
F・GARAGE
代表
福井 一樹 (I)

紹介者

松永花壇 杉田 憲吾 氏
パンズグリル 小川 尚範 氏
(株)タカハシ 高橋 克直 氏

同友会の先輩方、はじめまして。^^
同友会で学び、自身のレベルアップを通して、お客さんに還元できるような会社で成長して行きたいと思います。よろしくお願いします。

9月
入会



農業、耕種、畜産、養鶏、園芸サービス
(株)ジョージア園芸
代表取締役社長
村上 力 (I)

紹介者

松永花壇 杉田 憲吾 氏
パンズグリル 小川 尚範 氏
(株)タカハシ 高橋 克直 氏

花や野菜の苗を育てて、ホームセンターなどに卸しています。多くの方と出会い、学び合いながら、自分と会社の成長につなげていければと思います。よろしくお願いします。

9月
入会



農業、耕種、畜産、養鶏、園芸サービス
(株)ジョージア園芸
専務取締役
村上 理衣 (I)

紹介者

松永花壇 杉田 憲吾 氏
パンズグリル 小川 尚範 氏
(株)タカハシ 高橋 克直 氏

根付きの花を生かしたブリコラージュフラワーで、暮らしに上質な彩りと潤いを添えます。

花と人、そして学びの輪を広げながら、ともに成長していきたいです。どうぞよろしくお願いします。

名称
変更



各種商品小売業
(有)やまさきショップ
取締役惣菜バイヤー
山崎 将 (I)

(有)やまさきショップの山崎です。地域のお客様に喜ばれるお店づくりを目指し、日々挑戦しています。学びを活かし、より良いお店を作ります。

次回 新会員オリエンテーション /

日時 2026年2月6日(金)19:00~
場所 ローズコム大会議室

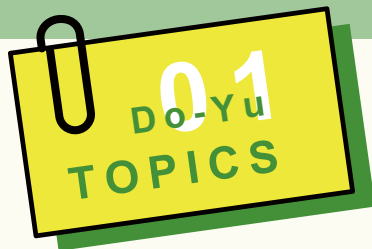
「ようこそ、同友会へ！」

会員一同、新会員の皆さまを心より歓迎申し上げます。
「3つの目的～良い会社、良い経営者、良い経営環境」の実現に向け、共に切磋琢磨していきましょう。

ご入会にあたり、同友会の目的・理念・歴史を理解いただくため、「新会員オリエンテーション」を開催します。ご多用とは存じますが、ぜひご参加ください。



組織委員会副委員長
ペアコム(株)
梨木 彩加 (P)



行動が未来をつくる

新会員オリエンテーション

■日時:10月3日(金)

■会場:ローズコム

■参加者数:53名

報告者

つなぐをつくる(同)

代表 原田 祐一郎 (K)



行動の大切さを学ぶ

原田祐一郎氏の実践からの気づき

今回の例会では、つなぐをつくる合同会社代表の原田 祐一郎氏より発表をいただきました。原田氏は会社員や個人事業主時代の経験を通じて、今のつなぐを作る合同会社を設立されました。当初は、個人事業主として、仕事は安定的に入ってきており、困っていることはとくにはなく、法人になろうとは、いつかはとは!考えてはいたみたいでしたが、とくにすぐ行動しようとは考えていなかったみたいです。しかし、高橋がなりさんと、岡田一真さん、石井純平さんに会い、「三顧の礼」、「理屈より行動」という思いや考え方が生まれてきました。その中で、原田氏は理屈ばかりを並べて、結局は動いていないんじゃないか、動いていないんじゃないかという気持ちと、当たり前のことを当たり前継続する意識の大切さを感じました。今は、「デジタルとアナログを融合させた新しいアイデアで人と人をつなぐ・つくる」を理念に会社をどんどん大きくさせています。

私が印象的だったのは、まず、自己開示が振り切っているということでした。いいことだけでなく、本当だったら秘密にしておきたいような会社の内部のこともすべてお話しされていて、すごく力強いパワーのある方だという印象があり、こちらも実が引き締められました。また、理屈より行動という言葉が今の私には、すごく響き、机上で考え、現場のことをもう少し理解しなければならないという思いになりました。今回の例会を通して、私はもちろん、参加された会員は当たり前のことを当たり前にする、それを継続させることの大切さや意識の持っていく方を学びました。

めしどろぼう
松岡 将吾 (B)

原田さんのバイタリティに

背中を押された日になりました

私は、1地区に新規で加入して下さった嘉手苅さんのアテンンドとして参加しました。

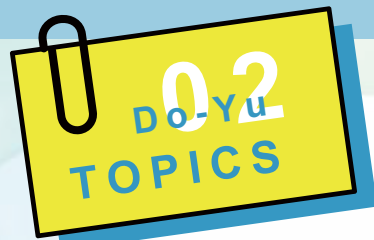
原田さんの報告は、同友会入会前と入会後の対比をありのままに語ってくださっている内容でした。原田さんは、積極的に行動されて人に会い続ける同友会仲間の熱意に押され、何となく会社を設立し、やがて自社の理念にまで昇華している。同友会の中でまずは自分から腹を割って話をする。社会不適合だったから独立を選んだこと。そして現在ますます精力的活動されていると感じました。

数年前、私が同友会に入会したのは59歳。長くサラリーマン生活を送ってきましたが、社内の報告業務に辟易してたことと、若い頃からの夢であった独立を叶えるためでした。独立後は収入の不安はあれどもストレスフリーな環境で仕事をさせていただいています。

原田さんと年齢は離れていますが、そのバイタリティには大きく影響を受けています。原田さんの思いでもある、小さな組織、フリーランスの仲間と共に創る「ギルド」の考えに共感してます。一緒に動いていくつもりです。

これから同友会メンバーのお役に少しでも立てるようになりたいという決意を新たにさせてくれた、とても有意義な発表でした。

ソーホーアワムラ
粟村 光範 (I)



(一社)広島県中小企業家同友会 創立52周年記念行事

経営フォーラム2025

人を生かす経営の総合実践で地域と共に変化に挑む!

■日時:10月7日(火)

■会場:リーガロイヤルホテル広島

TKP広島本通駅前カンファレンスセンター

■参加者数:482名

基調講演
報告者NPO法人 Homedoor
理事長
川口 加奈 氏分科会
報告者ペアコム(株)
代表取締役
梨木 彩加 氏 他第1分科会 だから私は動き続ける
私と会社を変えた同友会活動

■会場:TKP広島本通駅前カンファレンスセンター

■報告者:ペアコム(株)

代表取締役 梨木 彩加 氏

■参加者数:43名

動き続ける理由を問い直す
梨木さんの成長と分科会で得た学び

経営フォーラム第1分科会は『だから私は動き続ける～私と会社を変えた同友会活動～』というタイトルでペアコム(株)の梨木さんによる報告を行いました。

梨木さんは、経営者としての漠然とした不安から社員の顔色をうかがっていた時期を経て、青年部活動などを通じて自らを見つめ直し、「社員のために行動する」ことを原動力に大きく変化されました。報告づくりの中で幹部社員の方とも面談を行いました。その姿勢は、現在の社員の皆様との信頼関係や会社の成長にもつながっていることを実感しました。

また、今回わたしは座長として関わらせていただきましたが、報告づくりを進める中で印象的だったのは、「自信を持つことの大切さ」という気づきです。梨木さんは多くの行動と成果を積み重ねながらも、自分に自信が持てず「自分が発表者でいいのか」と悩まれていました。しかし、仲間からのフィードバックを真摯に受け止める中で次第に自信を深め、最後には「もっと多くの人に伝えたい」と前向きな姿勢に変化していった姿はとても印象的で、自分も会社で自信を持ってふるまえているか振り返るきっかけになりました。

また、当分科会では、経営者としての使命や存在意義を改めて問い直し、同友会活動を自社の発展へどう生かしていくかをテーマに討論を行いました。参加者の皆さんそれぞれに、明日からの実践につながる気づきや学びがあったのであれば幸いです。

改めて、当分科会に参加された皆様、分科会運営に関わっていただいた皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました!

社会保険労務士法人
テトラ
柳井 一輝(D)

巻頭あいさつ

去る10月7日、広島同友会の創立52周年記念行事に位置づけられた、経営フォーラム2025が開催されました。記念講演は405名、分科会は合計426名が参加しました。

青年部担当の第1分科会では、ペアコム(株)梨木彩加氏(P地区)が報告しました。

BATPOST11月号では、3つの分科会の感想を紹介します。なお、基調講演・分科会の要旨は「同友ひろしま」12月号で特集します。



第3分科会

指針書が示す新時代への挑戦
未来をデザインする成功の道

■会場：TKP広島本通駅前カンファレンスセンター

■講師：(株)西川組 代表取締役 高重 直文 氏
(株)ベルエール 取締役 金口 志織 氏

■参加者数：??名

二人の実践から感じた、
指針書が生む一体感と成長

「指針書が示す新時代への挑戦」をテーマとした当分科会では、高重直文氏（株）西川組）と金口志織氏（有）ベルエール）が登壇。経営指針書を通じて社員とビジョンを共有し、組織を一体化させる取り組みが紹介された。両氏の実践からは、指針書が単なる経営計画ではなく、社員の主体性を引き出す「共育」のツールであることが伝わった。

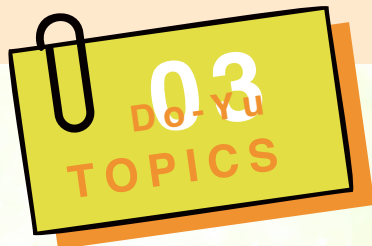
グループ討論では、自社に合った形での活用や社員巻き込みの工夫など、前向きな意見交換が交わされ、多くの学びと共感が広がった。

(株)マザーアンド
チルドレン
安田 剛(S)ひとりで抱え込まず、共に進む経営の
大切さを学んだ

経営フォーラム第三分科会では、指針塾オブザイヤー受賞のお二人の報告から、多くの学びを得た。金口さんは、弱音を吐き、社員に助けを求めたことから会社が好転したと語り、高重さんは、カンボジアの社員の困りごとに本気で向き合ったことが、ビジョンと可能性を大きく広げる契機になったと話された。

私は個人事業主だが、パートナーが相談役として常に支えてくれる環境にある。しかし「自分でやらねば」「成果は自分のものにしたい」と、差し伸べられた手を素直に受け取れないことがあった。今回、経営指針書作りで行き詰まり、思い切ってパートナーの力を借りたことで、心が通じ合い、誠実な想いにも気づかされ、以前より同じ方向を向いて進めるようになった。ひとりで抱え込まず、共に歩むことの大切さを改めて実感した分科会であった。

ビジョン
プロジェクト
田中 美紀(D)



障害者問題全国交流会in青森

■日時:10月9日(木)10日(金) ■会場:ホテル青森・モルトン迎賓館
■参加者数:14名(広島同友会)

今回初めて障害者問題全国交流会に参加してきました。以前、自社において障害者雇用に取り組んだものの2回とも途中退社となり失敗した経験から、第二分科会において愛知同友会所属の(株)中央技研 社長、小島氏の発表を拝聴してきました。

愛知同友会は“障害者一社一人関わる”との方針で障害者雇用に取り組んでおられます。同友会理念で“人間尊重”を掲げている以上、障害者に寄り添うことは同友会会員として必然であり、たとえ今は雇用することができなくとも何かしら関わりを持つべきであると理解しました。障害者雇用に取り組んでいる業者との積極的な取引や、特別支援学校への支援、バリアフリー委員会の開催する交流会に参加して学びを得



ることから始めれば取り組みやすいのではないのでしょうか。

小島社長の分科会に参加して、自分が障害者雇用で失敗した理由に気付かされました。私は障害者雇用を企業にできる地域社会への奉仕の一環であり、地域の誰かがやるべきことであると捉えていたのですが、これが失敗の要因でした。障害者を雇用することで社会に奉仕していると思い違いをしていたのです。障害者雇用を社会奉仕や慈善と捉えるのではなく、健常者障害者分け隔たりなく社員が人間らしく平等に生きていける暮らしを守ることが経営者の使命であり、“雇用をすること”ではなかったのです。

雇用している社員を障害者健常者として分け隔てることなく、お互いの違いを認めあい尊重しながら、すべての社員が社会に対して経済的価値(人の役に立つこと)を生み出すことが出来る一社会人として自立成長できる社内風土をつくっていかねばならないと認識させられました。



ヤマモトロクマシン(株)
山本 将登(G)

なりたい姿・やるべき事の明確化 ～私、〇年後承継します!!～

■日時:10月17日(金)
■会場:ローズコム
■参加者数:17名

報告者

喜多村包装(有) 喜多村 達也 氏



10月例会では喜多村包装(有) 喜多村さんに、入会して初めての報告をしていただきました。婿養子として会社に入社され、事業承継というテーマに向き合っています。理想と現実の違いに葛藤しながらも、役員や社員さんたちと対話を重ねてきました。自分の描く未来像を言葉にするためにビジョン検討シートを記入し、マンダラチャートも完成させました。今後は、この報告の中で行った社内での対話、グループ会での学び、同じ境遇の経営者からの学びを活かして、5カ年ロードマップに沿って行動していければと思います。

グループ討論では「どのようなことに感謝して経営していますか?」をテーマに討論していきました。これまで会社を存続してきた先代に感謝。社員さんにも感謝。家族にも感謝。賛否の意見をくれる同友会メンバーにも感謝。いつも感謝しているつもりが、社員が離れ一人になったときに感謝が当たり前ではないということに気づいた。一人でできると思って動いてきたが、限界をむかえ助けてくれた社員に感謝。「心から感謝があれば自然と相手にも伝わる。」という意見が出ました。

喜多村さんも報告する前は感謝がこれっぽっちもなかったが、報告をして感謝が生まれたみたいです。喜多村さん、初めての体験報告お疲れ様でした。討論を経て、改めて「感謝とは」を考えさせられました。ありがとうございました。



(株)イシイ
小川 智也 (A)



B 地区会

メンズ美容王に俺はなる！！ ～男性の自己肯定感をぶち上げる美容の可能性～

■日時：10月23日(木)
■会場：ローズコム
■参加者数：48名

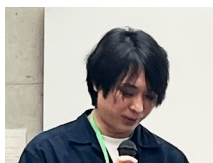
報告者

FLEX
天満 雄志 氏



10月23日、FLEX 代表の天満雄志氏による体験発表を行いました。タイトルは『メンズ美容王に俺はなる!!』というタイトルで始まった発表でしたが、その内容はこれまでの施術においてお客様に寄り添い、ご自身が感じられた美容における男性の変化などを中心に今後の中期経営計画も含めた内容でした。

学生時代から有言実行がモットーの天満氏。学生時代には野球に打ち込みながら、学業でも常にトップの成績。親御さんの背中をみて、安定した大手企業へ就職されたそうです。10年勤務する中で感じたのは、本当にやりたい仕事はこれであっているのか?という自分自身への疑問だったそうです。そんな時、趣味でもあった美容の世界に視野が向き、現在の事業がスタート。起業への大きな転機となったのは、前髪で目元まで隠れたお客様に眉毛デザインの施術後に、堂々と胸を張って天満さん髪の毛の毛切ります!と胸を張って帰られたこと。趣味から本業になるのでは!?と一念発起。大手企業を退職し、起業。研究結果では、人の第一印象は3秒から5秒で決まる。一度ついた印象は簡単には変えられない。見た目のいい人はそうでない人に比べて年収が高いなど。今



10月まとめ



10月趣旨説明

までに実際に施術された方からは、彼女が出来た・営業職の方は施術で自信を持てた事でプレゼンが上手いき商談がまとまったなど100件以上の嬉しい報告もあったそうです。現在では若者を中心に自分を大切にする文化・整えるはマナーといった意識の人が増えているといいます。天満氏が考えるメンズ美容の3つの価値は『第一印象を変える力・自信を生み出す力・習慣や文化を変える力』とのこと。

またサロン名の『FLEX』は柔軟性や最近では自慢するなどの意味としても使われており、施術後に自信を持ってもらいたい・可能性を広げてもらいたい。といった理由でつけたそうです。

グループ討論では、自社の事業・サービスが人や社会にとってどんな価値をもたらすか?について討論。発表を元に自社について振り返り、他社の取り組みを聞いてこれからの展望や現状について改めて考えるいい機会となりました。グループ討議中、テーブルに来てくれた天満氏の眉毛を見て施術したくなります!満面の笑みで話されていたのが印象的でした。

中島グループ長のまとめでは、ご自身も施術をされ変化があったことを話され、男性会員の方はぜひ、天満さんの施術を受けて変化があることを体感してください。と締めくくられました。



榎明和
藤井 利彦(B)

D 地区会

経営指針作成プロジェクト ～羽原本気出します～

■日時：10月15日(水)
■会場：福山市西交流館
■参加者数：20名

報告者

钣金工房カーリペア(株)
羽原 由晃 氏



「同友会活動の歩き方」というテーマをもとに例会を考える中で、せっかく同友会という組織に属しているのに、その学びの場を十分に活かしていないのではないかと感じました。Bグループ小組長の羽原氏が運営委員会に参加しながら、まだ経営指針を作っていないことが話題となり、同友会の学びの原点である「自ら経営指針をつくる」という一歩を踏み出す姿を例会テーマとすることにしました。

月1回だった小組会を月2回に増やし、羽原さんの考え方や仕事の現状、将来の展望などを共有し、指針作成の資料をまとめていきました。メンバー同士が率直に意見や助言を交わす中で、「これも同友会の学びの実践だ」と実感しました。

また、参加者が固定されがちな現状にも気づき、小組会の活性化こそが地区会全体の盛り上がりにつながると感じました。

今回の取り組みを通じて羽原さんは「本気を見せる」と中期計画を掲げ、次のステップへと動き出しています。

その姿勢から、10年後さらに発展する姿を想像できる、非常に意義ある例会となりました。



福山電業(株)
佐藤 宣志 (D)

E 地区会

同友会で学んで実践して何が変わったか

■日時:10月21日(火)
■会場:ローズコム
■参加者数:22名

講師

フリースタイル(株)
今井 英尚 氏

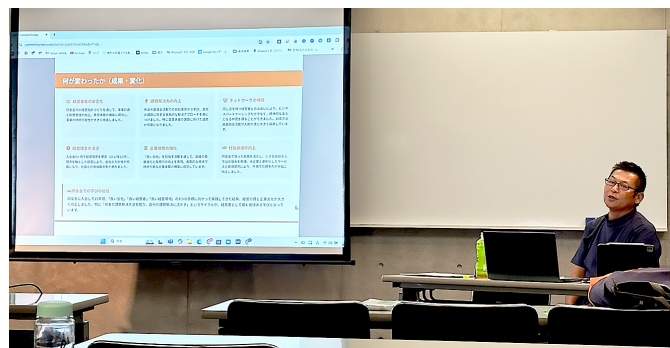


今回の例会では、フリースタイル(株)の今井英尚社長より、これまでのご経験と学びについてご報告をいただきました。例会は、QRコードを用いた双方向形式で進行し、参加者の質問に即時にお答えいただくなど、終始活気に満ちた時間となりました。

今井社長は、前職での営業経験や二十数回に及ぶ転職の中で培われた「掃除から始まる職場づくり」や「反骨精神を力に変える姿勢」など、現場での実体験をもとに語られました。また、「看板一本で街の流れを変えられる」という言葉には、仕事への誇りと地域への想いが感じられました。創業時の苦労や事業計画を重ねた過程から、「数字よりも人を育て、地域に貢献する経営が大切」との学びを示され、その言葉が心に残りました。

私たちE地区としても、今回の発表を通じ、学びを行動に変え、地域と共に歩む姿勢を改めて胸に刻みました。今井社長ありがとうございました。

神原商事(有) 神原 秀之(E)



F 地区会

想いをつなぐバトン ～未来への決意と経営理念の魂～

■日時:10月15日(水)
■会場:東交流館
■参加者数:31名

報告者

(株) Moana 小川 美香 氏

令和7年10月15日(水)、東交流館大会議室にてF地区4グループ10月例会を開催しました。

今回は(株)Moana 代表取締役 小川美香氏を報告者に迎え、「想いをつなぐバトン ― 未来への決意と経営理念の魂 ―」をテーマに体験発表を行っていただきました。小川氏は、経営理念を生み出す過程での葛藤や苦悩、家族経営の現実、そして次世代への想いについて率直に語られました。理念を言葉として掲げるだけでなく、日々の経営の中で「魂」として生かし続ける姿勢に、参加者一同深い共感を覚えました。

また、当日は後継者の方に加え、(株)Moanaの社員も参加され、理念を共有しながら学びを共にする姿勢が印象に残りました。発表後のグループ討論では、「経営バトンの引き継ぎ方、受け取り方を教えてください」をテーマに意見交換を行いました。テーマがやや難しいとの声もありましたが、参加者からは「社員の皆さんが経営理念を共に学ぶ姿に刺激を受けた」「自社の理念伝承の在り方を考えるきっかけになった」との意見が寄

せられ、活発な討論が展開されました。

経営の原点に立ち返り、理念を次世代へとつなぐ意義を再確認する例会となり、参加者にとって多くの学びと気づきを得る有意義な時間となりました。



(株) TK ONESTEP
津田 浩一 (F)



G 地区会

「福山支部青年部会10月例会」へ合流

■日時:10月6日(月)
■会場:県民文化センターふくやま
■参加者数:23名

報告者 (株)POST 山中 友貴 氏



10月のG地区例会は、青年部10月例会へのオブザーバー参加として実施されました。

(株)POSTの山中友貴氏による発表の後、「自己変革できていますか?」をテーマにグループ討論を行いました。

山中氏の発表では、ご自身の課題や弱点に正面から向き合う姿勢が語られ、誰にでも共通する根本的なテーマとして深く共感を呼びました。経営者であれば多くの方が、日々さまざまな方法で自らを律していると思いますが、うまくいかない時こそ、生来の癖や弱点が原因となることも多く、改めてその重要性を感じさせられる内容でした。

グループ討論では、青年部の皆さんが作成した「41ビジョン」と現在の状況とのギャップ、その原因や今後の目標などについて具体的な話を聞くことができました。

最後に、この例会のまとめを述べられた藤岡氏の言葉で印象的だったのが、「人から指摘されたり気づかされたりした自身の課題と素直に向き合いますはやってみる、そして次の課題に取り組む。自分に本当の意味で向き合えるのが同友会例会の良いところ。」

G地区の枠を超えて青年部の方々とお話ができたことは今回も自身を見つめ直す良い機会となり、非常に有意義な例会となりました。



『信頼される人になる』(株)POST 山中友貴氏



啓誠建築
遠藤 康平(G)



11G報告:赤崎氏



9G報告:狩野氏



12G報告:阿吹氏



報告者を交えてのグループ討論



例会のひとつコマ

I 地区会

＼ワイワイ楽しむ!!／ 会社力発見ワークショップ

■日時:10月20日(月)
■会場:西部市民センター
■参加者数:10名

報告者

(株)明電
大塚 真 氏

(株)サンヨーエム
槌井 要 氏

I地区10月例会では、「企業変革支援プログラム」をテーマにした内容で開催しました。このプログラムは、自社の現状を見える化し、経営課題を把握するための重要なツールですが、実際に入力しようとする「質問の意味が分かりづらい」「途中で心が折れてしまう」といった声も多く、なかなか継続が難しいという現状があります。

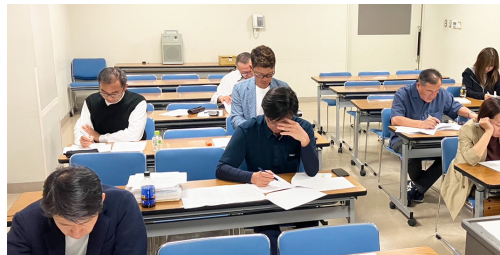
そこで今回は、できるだけハードルを下げ、楽しく実践していただけるように工夫しました。AIの力も借りて、アンケート風にアレンジした「別バージョン」形式を作成し、参加者全員で自社を診断してみました。参加者の中には、企業変革支援プログラムを体験していない新会員の方から、毎年定期的に取り組まれている方まで幅広くいらっしゃいましたが、誰もがスムーズに、そして分かりやすく入力を進めることができました。実際に診断してみると、別バージョンとはいえ、自社の「いまの姿」が具体的に見え、強みや課題に気づく良い機会となりました。

今回の例会を通じて感じたのは、「やりっぱなしにしないこと」の大切さです。企業変革支援プログラムを定期的

に実施し、見えてきた変化や経営課題、改善点を経営指針に反映させることこそが、本来の目的であり、持続的な成長につながると改めて実感しました。



(株)サンヨーエム
槌井 要(I)



J
地区会

経営フォーラムに合流

■日時:10月7日(火)

■会場:リーガロイヤルホテル広島

■参加者数:6名(J地区)

TKP広島本通駅前カンファレンスセンター

会員数3000名に及ぶ広島同友会において最大の学びの場である経営フォーラム。支部を越えての学びと交流は、フォーラムならではの緊張感を感じる事ができます。

昨今、地区例会や支部例会の学びの質が向上し県行事や全国行事への参加がおろそかになるように感じます。ですがフォーラムには地区例会や支部例会では味わえない学び、気づき、刺激そして交流があります。地区会においては参加者数を求められたりもしますが、フォーラムの参加者数は1つのバロメーターであり、真の意義は参加者の学びの場になる事だと思います。アンケート結果を見ても参加者の満足度は高く学びを实践へ生かし、次のフォーラムでは参加して良かった、あの時の学びが成長に繋がったという企業も生まれているのではと感じております。

同友会での会作りは、主催者と参加者の双方で成り立っていると理解しています。時に作る側、時に参加する側、どちらになろうともそこには学びと気づきがあると思います。年に1度のフォーラムです。時間を作り行動しなければ。リアルに体感し、学び、研鑽すれば必ず良い結果につながる

と思いました。もっと多くの人に参加してほしい、参加すれば必ず得るものがそこにある。そう感じる事ができた経営フォーラム2025でした。



(株) Acroネットワーク
藤井 友博(J)

K
地区会経営の悩み、プロに聞く
～明日から使える実践アドバイス～

■日時:10月22日(水)

■会場:彩のそよ風

■参加者数:14名

報告者

せとうち経営相談(同)
棚田 勇作 氏

K地区の10月例会は国内外の企業の経営サポートを行っている同地区、せとうち経営相談(同)代表の棚田氏を報告者(講師)として迎え事業計画書を作成する際のポイントやマーケティングのレクチャーを受けた。事業計画の必要性、定性的な情報(言葉、印象、感覚)と定量的な情報(数値、データ、割合)の違い、商圏分析をする上で大変便利なe-Statという地図上の指定した範囲に年齢別人口や競合を表示できる無料ソフトの紹介、中小零細においてのSWOT分析の考え方、ファネルマーケティングについて分かりやすい講義が進んでいった。

グループ討論においては『売り上げ目標に対する根拠』について話し合った。固定費や、売上げ目標から逆算して計画を立てている、単価アップの為の技術向上に向けて行動に起こしている、事業計画に沿って行動した事でリピート率向上など参加者の各々が真摯に経営に向き合っている姿を見る事が出来た。

オブザーバーの方においては介護の現場では国が金額を決めている、仕事はあるが人がいないなど厳しい面のある業種であるが福山No1の事業所になると力強い発言をしてくれたり、今までこのような場に参加する事がなかったがお店の移転を考えている中、大変良い学びになったと喜んでいただけた。私自身、同友会に入会して経営指針を作る過程においても今例会のテーマは幾度となく学び考える機会を得ていたが、日々の業務に追われる中、深掘りして考える時間を取ら

なくなっていた事を反省したと共にマーケティングを学ぶ事の面白さを再認識させてもらった例会となった。

同地区はプレイヤーとして奔走している経営者がほとんどであり、計画を立てても実行できない人が多いという相談もあった。私もその一人となりますが同地区には棚田氏を含め中小企業診断士も在籍しています。気軽に相談できるチャンスが沢山あります。せっかく同友会に入っているのだから職場を一步でまずは小組会をしっかりと活用していく事で計画の見直しや実行していく事を考えるきっかけになるのではと思いました。

余談となりますがこの度は例会開始直前に予期せぬ会場トラブルがありましたが生新しい会場を見つけ移動し、30分後には順調に例会開始できました。臨機応変な迅速な対応力、やるなK地区となりました。報告(講師)を担当してくださった棚田さん、ありがとうございました。また運営担当グループの皆さんお疲れ様でした。



(株) TRIANGLE
山廣 暁美(K)



P 地区会

1人の人間として自分らしく生きていく ～人生はロックンロール～

■日時: 10月16日(木)
■会場: ローズコム
■参加者数: 19名

報告者

ジェイ・ワークス(株)
上堂 蘭 順代 氏



10月度のP地区例会では、同友会歴20年の上堂蘭氏が、自身のこれまでの歩みと成長を振り返る体験報告を行いました。幼少期に「落ち着きがない」と評価された上堂蘭氏は、憧れの叔母の存在をきっかけに「こうなりたい」という目標を持つようになります。その後、楽しければいいと10社以上の仕事を転々としませんが、同年齢の同僚の輝きに衝撃を受け、自身の10年間を問い直す転機を迎えました。

同友会に入会してからは、青年部での活動を始め、委員長や地区会長などの役職を経験。この過程で、仲間の会社の倒産や自死、自身も困難な状況に直面する辛い時期を経験しますが、人との出会いに助けられたと述べています。様々な経験を経て、人のために仕事をしたいという「人としての成長」を遂げ、現在は看板業から福祉事業まで多岐にわたる事業を展開されています。今後は、全国の同友会会員に向けて自身の思いを発信していきたいという意気込みを語られました。

続くグループ討論は、「あなたは社業でロックンロールしてますか?」をテーマに実施されました。ここでいう「ロックンロール」は、わがままな自由ではなく「自分らしさ」と定義付けられ、参加者はこの「自分らしさ」の難しさについて議論を交わしました。討論を通して、「らしさ」とは、自身のやりたいことを定め、それを楽しんで実行に移す行動であるという認識が共有されました。上堂蘭さん報告お疲れ様でした。良き学びをありがとうございます。ロックンロール!!

クンロール」は、わがままな自由ではなく「自分らしさ」と定義付けられ、参加者はこの「自分らしさ」の難しさについて議論を交わしました。討論を通して、「らしさ」とは、自身のやりたいことを定め、それを楽しんで実行に移す行動であるという認識が共有されました。上堂蘭さん報告お疲れ様でした。良き学びをありがとうございます。ロックンロール!!

(株)ウッドライフ
川上 定保(P)



S 地区会

輝け！S地区経営者大賞

■日時: 10月15日(水)
■会場: ジーベックホール
■参加者数: 24名

報告者

(株)瀬川工具店
油藤 智子氏



(株)キッカワ
守本 貞江 氏



Apple(株)
小川 浩司 氏



S地区10月例会は、経営者大賞のS地区代表を決める予選会を行いました。私は支部の第一回から拝見しておりますが、本番さながらに緊張感あり本気度充分でした。

1番手は油藤氏、木工用刃物制作等の会社です。業績の厳しい状態で社長に就任されましたが、一生懸命やってみても会社は良くならない。転機は、経営指針書づくり。とにかく会社を良くしたいとの強い思いから、社員に向き合い、ぶつかり合い、社員とともに経営改善に取り組まれました。数字は次第に改善し、社員のモチベーションも上がり、さらにSWOT分析で弱みを強みに変えるよう取り組まれました。「社員に方向性を伝えていない社長が全て悪い」油藤氏らしい言葉で「即行動」自社の見られたくないような数字も根拠も全て我々にさらけ出し、完成度の高い発表でした。

2番手の守本氏、塩化ビニール素材を使ったオリジナル製品の製造と販売の会社です。リーマンショックで受注減、その翌年自社工場全焼、さらに翌年に社長就任、同友会入会されました。入会当初から積極的に経営指針塾やSWOT分析を通じ、強みとして「ワンストップで完結できる技術」「加工/ノウハウに基づく営業」「幹部との阿吽の連携」を再確認。弱みとして「若手雇用不足」「技術承継の困難」「設備投資資金不足」を認識。重点目標「若者が一緒に働きたい会社づくり」に取り組んでおられます。分かりやすい発表でした。

3番手は小川氏、地域のかかりつけ調剤薬局をされておられます。年長者さながらの多様な職歴から薬局経営。順調にいった経営も、営業活動

を担っていた薬剤師が退職意向を示し、大きな痛手に。さらに処方元クリニックの突然の閉鎖が重なった。2021年の5月に同友会入会。「経営基礎講座」に参加し、「経営理念」「経営ビジョン」策定。毎年の「経営指針の発表」や「社内勉強会」を実施。医療と介護のハブを目指し、オンラインを積極活用して情報発信を強化し、ケアマネージャーから外部研修をWebで実施したいとの依頼があり、講師兼運営として対応。その後、府中市や医師会の全面バックアップで継続開催可能になった。今後は、高齢者だけでなく、子育て支援・子育て世代向けの新たな取り組みを検討しているとのことでした。

最後に総括として掛江副支部長より、発表から得られた主要なキーワードは「即行動」であり、経営者が自ら行動することが会社や社員を変える上で不可欠であると強調されました。

S地区では、このようなプレゼンテーション発表会を毎回継続しています。この地区の取り組みを外部に広く発信し、地区全体のさらなる発展と活性化につなげていきたいという意向が示されました。



横山建設工業(株)
横山 宣弘(S)



青年部

信頼される人になる
～ここで変わらなきゃ変わらない～

■日時: 10月6日(月)
■会場: 県民文化センターふくやま
■参加者数: 68名

報告者 (株) POST 山中 友貴氏



山中氏による体験報告は、私自身も日頃から直面している課題について深く考えさせられるものでした。山中氏の事業であるノーコード技術を用いたシステム開発は、効率よく、顧客に最適なシステムを導入できるという優位性が明確であり、地方におけるDX推進の担い手として期待されていることがわかりました。創業からほぼ毎年売上が倍増し、黒字化を達成した山中氏。しかし、利益を追って新規開拓に傾倒しすぎた結果、創業期を支えてくださった既存顧客への対応がおろそかになったという赤裸々な告白は、胸を打ちました。納期遅延や進捗報告不足といった具体的な失敗を包み隠さず語られた自己開示の姿勢・勇気は、まさに同友会活動の真骨頂だと感じました。

青年部小組会での活動を通じて、「八方美人」や「先延ばし癖」といった自身の行動パターンを明確に分析し、小組メンバーからの「お客様にしっかり向き合った方がいい」という本質的な助言によって、変革の方向性が定まり、自分の内面を整えるだけでなく、「お客様との信頼関係」こそがすべての根幹であると気づいた山中氏。その気づ

きから新たな経営理念、行動指針を作成し、行動を続けている事は、信頼を回復し、成長する為の強固な土台となる可能性を感じさせました。

グループ討論では、他人の改善点は指摘しやすいが、自分自身に矢印を向ける事は難しいという観点から、自社・自分に目を向け「自己変革」出来ているかを話し合いました。山中氏の本気本音の発表により、参加者も自分に対して本気本音で考える貴重な時間となりました。私自身、この経験を今後に活かしたいと思います。



フィルムポケット
菅田 良平 (E)



突撃! 部会訪問

【青年部編】
10月青年部例会

信頼される人になる

■日時: 10月6日(月)
■会場: 広島県民文化センター

報告者

(株) POST
山中 友貴氏



広島県青年部会連絡協議会

初めて参加した青年部例会。まず、その人の多さに驚かされました。支部例会並みの参加者で、遠く広島・東広島・三原より参加される会員もおられ、三つの目的唱和の後、青年部独自のスローガンの唱和。引き締まった雰囲気の中、例会はスタートしました。早間青年部会長の第三子誕生を、青年部全員の喜びとして祝うなど、心温まるシーンもあり、本題の山中氏の報告へと進んでいきました。若き経営者にありがちなイケイケの経営体質から数多くの困難に直面し、どうしたらよいか真剣に悩みを仲間に打ち明け、良き先輩の心温かいサポートにも助けられ、また、お客様の寛大な心にも救われ、ピンチを脱出して現在に至る。そこには、共育で育った若き社員の存在もあり公の場でその労をねぎらい、感謝の意を伝え、社長としての決意も新たに、今後に期待の持てる報告でした。

同友会の学びの場は、地区例会を始めとし、部会・委員会・支部・県・全国行事…等、自身の経営課題を解決するヒントが隠されたステージがいくつもあります。自社の存在価値をより高め、ステップアップしていけるよう学びの輪を広げていきましょう。そういった会員への情報発信のお手伝いをしている福山支部報『BATPOST』会員にとって有益で、経営に活かせる情

報発信を目指し、広報委員長を中心に広報活動を行っている広報委員会に、今後とも、ご支援・ご協力いただけることを切に願います。

最後に、この度の異例な合流を快くお受けいただいた青年部のみなさまに、心より敬意を表し、感謝申し上げます。ありがとうございました。



夢工房 楽和
浅田 英史 (G)

●広島同友会青年部2030ビジョン

『大志を抱き 時代を拓く』～我々が広島経済の未来を担う～

- ・挑戦と想像を続ける青年経営者になろう
- ・人と地域を輝かせ 発展し続ける会社をつくろう
- ・本気本音で高め合い 成長し続ける青年部にしよう



厳しくも愛のある総括: 藤岡氏



真剣にメモを取る部会長: 早間氏



10月青年部例会のひとコマ

■日時：10月2日(木) ■会場：事務局
■参加者数：31名

報告者

バンズグリル 小川 尚範 氏

今回は経営方針を作成するための前段階として、自社の強み、弱み、外部環境などを客観的に見るために「SWOT」分析＆「クロスSWOT」分析を行いました。この「SWOT」分析は自社の現状を客観的に捉える分析方法です。自分では分かっていると思っている事柄も文字に表してみると想いと違っていたり、見えなかった部分が見えてきたりするものです。とは言え、表の4カ所を埋めて行くのは簡単ではありません。まずは考え方を学ぶため委員会が用意したビデオで学習をし、その後各自書き込んで行くのですが、手が止まることもしばしばです。

そんな時フォローしてくれるのが経営労働委員やアドバイザー(?)役を務める先輩会員の皆さんです。アドバイスを下さる皆さんは、受講者とその会社の状況や外部環境などについての会話をしながら受講者が気付かなかった問題の本質や改善点などを洗い出してくれます。この会話の中から本人が気付かなかった問題点



や、改善のヒントが見つかったりするのです。これが経営基礎講座を受講する最大の魅力(強み)だと私は思っています。

自分一人でテキストを頼りに色々考えるのも一つの方法ではありますが、多くの会員と意見を交わし、アドバイスを貰い・上げながら作り上げて行くのも充実感・達成感を存分に味わうことが出来ます。是非多くの会員に経営指針基礎講座に参加してもらいたいものです。



島田正美社会保険
労務士事務所
島田 正美 (A)



同好会 紹介

第5回

焚火クラブのご報告



■日時：10月25日(土) 18時着火 ■会場：しーふぁ〜む尾道 屋根付きBBQ会場
■参加者数：12名
→ 松永ハロウィン会場

皆様こんにちは。暑さも和らぎ、気候が良くなってきたので約半年ぶりとなる焚き火クラブを開催しました。今回は初参加2名+オブザーブ3名を加えて合計12名で焚き火を囲みました。燃料は「燃えすぎ注意!の天下木型製作所 さんの端材」を事前に頂いていたので使わせて頂きました。天下さんは「輸入パイン材を使っている」と言われていたので原料は「松」本当によく燃えました。

オブザーバーは、(有)ハローホーム 豊田さんの息子さん、里親支援センター明日葉の平岡さん、私の妻が初参加でした。平岡さんのPRタイムは、里親を広める児童福祉のお話で、まず「里親ってなに?」という所から始まり、様々な質問が飛び交いました。我々にとっては問題提起を受けて児童福祉に対する理解が深まりましたし、平岡さんにとっても一定の成果を持ち帰る事が出来たかなと思いました。

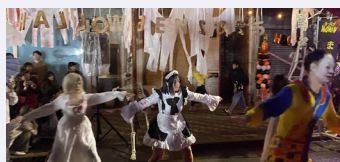


消火後は第3回松永ハロウィン会場へ移動、あいにくの空模様でしたが、前回の焚き火クラブでお世話になったペルー料理デクシナのママがわざわざ店を開けてくださり、店内でイクインした飲食物を楽しむことが出来ました。去年はゾンビがワラワラいて怖かった場面もありましたが、我々が到着した頃はもう終わり頃で、ゾンビたちはフィナーレのダンス中、松永ハロウィン実行委員長の田口さん(D地区)は閉会前の挨拶回りでお忙しいような雰囲気でした。

こんな感じで第5回焚火クラブ、無事に開催出来ました。参加された皆さん、大変お疲れさまでした!次回は年内にもう1回やるかやらないか・・・年内に出来なければ来年春🌸お時間に都合のつく方をご参加くださいませ〜(^^)/



(株)タカハシ
高橋 克直 (I)



どういう？ グルメ

自薦・他薦問わず、同友会内のおススメ飲食店
 グルメ情報を募集中！
 各地区の広報委員にお気軽にお声がけください。

2000年オープン

鉄板焼居酒屋 わっしょい。



絶妙なバランスが光る
広島おこのみやき スペシャル玉そば 1,450円

ダシが効いた生地に、パリッと香ばしい麺としっとり感が合わさる絶妙な仕上がり。甘めのソースが全体をやさしくまとめます。柔らかな豚肉と甘みのあるキャベツ、さらに餅とチーズがコクと満足感をプラス。素材の良さが引き立つ、完成度の高い一枚です。

25年間、神戸の繁盛店で修業し、メニューを増やさず改良を重ねてきた店主。福山でも出店経験を積み、地域に根ざした味を育ててきました。原点は、母が営んでいた明治町のスナック。その後「わらべ」「わっしょい」と店舗を広げましたが、スタッフ独立を機に2009年に一度閉店。それでも料理への情熱は消えず、再び厨房へ。



鉄板焼居酒屋 わっしょい。
入江 静樹 (B地区会)

コロナ禍では店を続けることが難しい時期もありましたが、乗り越えて安定経営へ回復。将来は店を移転し、監修やオーナー業にも挑戦したいと語ります。“曙の名物おじさん”として親しまれ、10年以上働くスタッフがいるのも魅力。「叱るより認める」が入江氏のモットーです。
 (広報委員 K)



住 福山市曙町 3-2-43
 営 月～金:11:30 - 14:00 (料理 L.O. 13:30)
 18:00 - 翌 0:00 (料理 L.O. 23:00 ドリンク L.O. 23:30)
 休 不定休 ※土・日・祝・祝前日は夜のみ営業



2024年10月オープン

麺屋まる 福山店



ふんわり香るだし之余韻
チャーシュー麺 980円

松岡製麺が営むラーメン店。麺は北海道産小麦粉をブレンドした小麦が香る仕上がり。スープは小豆島の醤油をベースに魚のダシと鶏のダシがたっぷりと入ったフワッと甘みを感じられる優しい味の醤油ラーメン。

麺家まる創業のきっかけは、麺の卸し先だった中華そばみやまの廃業がきっかけです。2019年5月創業。



その後、コロナ禍などの苦難を乗り越えて、開店から5周年を迎えた頃に現社長の弟の入社をきっかけに笠岡店を任せて福山に2号店となるお店を南蔵王に開店。2024年10月、福山店では笠岡店とは違った雰囲気と同じ味をお客様に味わってもらってます。開店してから沢山のお客様にご来店頂き、常連のお客様にも支えてもらいながら開店から1周年が経ちました。福山の老舗製麺所である松岡製麺の直営店なので、麺の品質とまごころをお客様にお届けする事を大切にしています。

現在では、スタッフがラーメン店の独立開業も予定しており、最近では新人のスタッフの教育を頑張っています。
 (広報委員 K)



松岡製麺(有)
松岡 良亮



住 福山市南蔵王町 6 丁目 32-7
 営 11:30 - 15:00
 休 火曜日 水曜日



第6回 支部理事会報告

■日時:2025年10月 29日 ■出席者:30/32

お知らせ① 福山市「ふくやまワーク・ライフ・バランスEXPO」のご案内

- 11/12(水)に「ふくやま ワーク・ライフ・バランスEXPO」を開催します。セミナーには、(株)ワーク・ライフ・バランス 代表取締役 小室淑恵氏が登壇し、3,000社の支援事例をもとにした実践的改革手法を紹介します。申込は、QRコードよりオンラインで締切延長して受け付けています。
- 現在行っている福山市補助金には、女性専用設備整備補助金(更衣室・休憩室・トイレ等、上限35万円)、男性育児休業奨励金(対象社員の半数以上が5日以上取得で10万円支給)があります。気軽に産業振興課へご相談ください。

お知らせ② 広島県よろず支援拠点のご案内

- よろず支援拠点は、国の中小企業支援施策として2014年に発足し、全国47都道府県に設置しています。広島県内は広島本部と福山サテライトの2拠点体制で、「経営のよろず相談窓口」として無料であらゆる経営課題に対応しています。現在、利用者の約60%が従業員5名以下の事業所で、創業準備中が約20%、小規模・個人事業主中心です。相談・助言・専門機関紹介を中心とし、民間事業圧迫防止のため、業務代行は行いません。相談内容としては、経営改善・事業再構築・補助金活用・販促戦略のほか、創業者・後継者不在事業者・廃業など様々です。相談は無料、回数制限なし、オンラインや土日でも相談対応しています。
- 福山拠点のコーディネーターは4名おり、コーディネートや資金繰り、経営計画支援、デザインなどそれぞれの強みを活かして支援しています。お気軽にお問い合わせください。

【報告・連絡】

2)委員会

①総務委員会 [田中委員長]

- 来年、1/26(月)に全地区合同役員会を開催します。現地区役員と新地区役員が出そろった時期だと思えます。現支部理事の皆さんもご参加をお願いします。地区会の会員数は違いますが、1地区から10名、合計で100名の参加を目標にしています。テーマは地区会運営の手引きです。総務委員会でも、その重要性を認識して地区で広めていこうと話しています。役員だけではなく、将来、地区役員をお願いしたい会員の参加も可能です。
- 今後の地区で周知、活用し、新年度の地区会の計画に役立ててほしいと思います。

②組織委員会 [杉田委員長]

- 12/2(火)に県組織委員会を福山で開催します。現地区会長のほか、来期の地区会長候補者の方にもお声がけください。

③企画委員会 [内海委員長]

- 今年度の経営者大賞のエントリー締切は11/28(金)です。B地区は既にエントリー済です。全地区からの募集を目標にしていますが、企画委員会に残念ながらエントリー見送りの地区も聞かれています。エントリー予定の地区は、準備をお願いします。

④広報委員会 [春名委員長]

- 来期のBATPOST編集企業の任期は、1年から2年に変更しました。編集体制の安定化を図ることが目的です。BATPOSTは1か月で閲覧が200名に増えました。月末の原稿締切にご協力ください。
- 広報委員会をより積極的に活用し、会員各自が情報発信・広報の場として利用してほしいと考えています。

⑤経営労働委員会 [高山委員長]

- 11月と12月は、企業変革支援プログラムの登録推進月間です。各地区で会員への声かけをお願いします。

⑥求人社員教育委員会 [森川社員教育委員長]

- 高校求人活動は、12/5(金)にイチセトウチで行います。県立福山工業高校1年生を対象に、自社の説明を行います。
- 現在、新卒採用のアンケートを行っています。採用状況によっては4月の新入社員研修が福山単独では開催できないことになります。ぜひ回答にご協力をお願いします。

⑦バリアフリー委員会 [上堂簡委員長]

- 11/27(木)に特別支援学校卒業生を対象にしたフォロー研修を開催します。参加対象の企業にお知らせください。

⑧環境経営委員会 [高橋委員長]

- 11/14(金)の環境経営勉強会は中止となりました。小林史明氏が副大臣の任務を解かれたためです。同友会は、特定の政党と関係を持たないという申し合わせに沿った判断となりました。
- 12/12(金)の委員会では、徳島同友会の居木(すえき)氏をお招きして勉強会を開催します。経営指針書の中に環境経営の内容を盛り込む「環境宣言」について学びます。多くのご参加をお待ちしています。

⑨地域内連携推進委員会 [馬屋原委員長]

- 11月は環境経営、政策委員会と合同で勉強会をする予定でしたが、内容を変更し「経営のにおいがする懇親会」を開催します。会場が決まり次第、ご案内します。

4)地区会・部会

- 「11月支部例会(仲間づくり例会)」の取り組みについて各地区報告を行いました。内容は省略いたします。

5)県関係の報告

①県理事会の報告 [豊田支部長]

- 会費の値上げについて継続して議論しています。グループ討論の中では前向きな意見も出ています。広島事務所の移転問題も検討しています。
- 各支部でも値上げ決定等の意見も聞かれますが、決定ではありません。時期が来たら、皆さんの意見もお聞かせいただければと思います。
- 県の役員選考が進んでいます。確定後には発表する時期が来たら、お知らせします。

②経営フォーラム2025の報告・感想 [藤井友副支部長、参加者]

●藤井友副支部長(県総会フォーラム実行委員)

- 経営フォーラムは、県全体で515名の申込があり、当日は482名の参加でした。福山

支部は申込96名、当日参加88名でした。福山支部は会員657名、出欠の回答率は46.3%でした。議案書には20%の参加目標を掲げていますが、達成地区は1地区、P地区、S地区でした。回答率も今後の課題となりました。

- 経営フォーラムのアンケート結果が出ています。参加者の満足度は非常に高いものでした。詳細は資料をご覧ください。

●道下S地区会長

- 基調講演はホームレスの就労機会の支援のお話でした。お話を聞きながら、9月支部例会の森社長の「現在、儲かるとされているところ/今は儲かるとされていないけれど、自分のまわりにある課題で、今後価値が上がっていく」という話とリンクしていると気づきました。分科会でも「地域課題を解決するのは、儲かっているから解決しているわけではない。まず解決が必要な地域課題を探し、それがビジネスになるかどうかは経営者次第」と話されていました。基調講演と分科会を通じて学ばせてもらいました。

- S地区からは27名の目標に対し、20名(当日19名)でした。刺激をもらって目標達成するというのが経営フォーラムだと思っています。経営フォーラムに行くのが当たり前という流れを作るのが必要と感じ、例年S地区から10名前後の参加だったのが、今年は20名になりました。

●第1分科会:早間青年部会長

- ベアコム(株)の梨木さんの報告でした。社員を幸せにしたいというまっすぐな思いを軸に、同友会でどう活動し、経営をしているのかというお話でした。行動することで社員との信頼が深まり、会社の方向性が明確になった内容に多くの参加者が共感していました。

●第2分科会:田中総務委員長

- 三原支部の(株)ニホンケミカルの原田さんの報告でした。原田さんは、社長と血縁関係のない後継者です。私は経営フォーラムは案内を見て、フラット行ってもいいのかなと思っています。そうすると大体面白くて、毎年参加するようにしています。

●第3分科会:末広B地区会長

- (株)西川組の高重さんと(株)ベルエールの金口さんの経営指針をもとに会社がよくなったという報告でした。高重さんは先代と血縁関係がない社員から社長になった人ですが、私と業種も近くとても感銘を受けました。グループの中で経営指針書を作っていない方が多く、この機会に作る人が増えるかな、と感じました。

●第4分科会:池田D地区会長

- 呉支部の三工電機(株)の上川さんの報告でした。会社の使命である「世の中になくはない企業になる」という思いを社員に伝えることで、社員と一緒に動く会社づくりができるようになったというお話でした。現在、20億かけて社内大学を作る構想があり、社員に思いを伝えていき、社員と一緒に会社を育てる大切さを改めて学びました。

●第5分科会:藤井大副支部長

- 東広島支部の田中前支部長の報告でした。田中さんは支部長を3期務め、会員数200名を達成しました。報告では、経営者の思いを発信する、両腕となる人を置く大切さを発信されました。グループ討論では、自分がやりたいことを全うできる、楽しくできる会社にしたいという意見でまとまりました。

●第6分科会:坂本K地区会長

- 島根同友会のモルツウェル(株) 野津社長の報告でした。島根は35年連続で高齢化率全国1位という地域です。グループ討論では、「地域の課題のためにあなたができることは何か、地域の多様な人材の活用」をテーマに話しました。自社がどう地域の課題に解決できているのか、経営理念に立ち返ることを考えました。

●第7分科会:高橋環境経営委員長

- 中同協は年に一度、政策提言を提出しています。分科会では池田事務局長から、同友会が政策要望を提案することを目的に設立されたこと、現在の政策提言の内容などをお話いただきました。政策提言を読むことで社会課題は何か、自社はその課題に対し、どう解決できるのかを考えることができます。ぜひ皆さんもご覧ください。

6)その他の報告

①支部活動費の執行状況 [田中総務委員長]

- 9月末の執行状況です。執行のめやすは50%に対し、41.5%です。
- 求人社員教育委員会は新入社員フォロー研修の参加費納入があったため、36.2%と前回の執行率から大幅に変わりました。
- 地域内連携推進委員会は、ふくやま企業の夏まつりの入院費用の入金がありました。保険から支払いです。企業の夏まつりは県委員会から補助が出る見込みです。
- 執行のめやすは50%ですが、委員会等によって行事の開催月がまちまちのため、組織別の執行率にバラツキが出ています。大きなポイントは以上です。

②支部理事増強の進捗 [豊田支部長]

- 福山支部では会員数700名の時期もありました。みんなで達成しようと声をかけ、目標期限間に達成しました。一方で中には同友会をあまり知らないまま入会し、周囲のフォローも足りずに会員数が減少しました。
- どのやり方が正解というわけではありませんが、今期の福山支部では無理やりの入会ではなく、同友会の良さを分かった上で入会してもらう、入会後も紹介者だけではなく、みんなでフォローをしていくようにしています。まずは自分が楽しく同友会に参加する、参加して良かったと思うことが結果につながると思います。私も含めて、そんな同友会活動を実践していけば増強の結果は出てくると考えています。

7)【承認事項】

①入退会の承認

■入会希望者(0名)

■退会希望者(0名)

今月は入会0名、退会0名でした。福山支部の会員数は657名です。

(文責 事務局 本田)

12月行事案内

福山支部新春講演会 & 新年互礼会

全体行事

「新年の幕開けに情勢を学ぶ」

講師

(有) 第一コンサルティングオブビジネス

代表取締役 丸山 博 氏 (東京)

日時：1月14日(水) 18時30分～21時30分

会場：福山ニューキャッスルホテル

特別会費：9,000円(講演のみは無料です)

申込締切：1月5日(月)

(※1/6(火)以降の互礼会キャンセルは会費全額をご負担いただきます)

毎年好評の「丸ちゃん」こと丸山先生が今年も福山支部の新春講演会に登場！国内外の情勢をわかりやすく解説いただきます。各社の経営指針のヒントにもなります。ぜひお問い合わせの上、ご参加ください。新年互礼会では地区を超えて交流を深めます。合わせてご参加ください。

日	曜	全体行事	委員会・部会	地区会、他
1	月		青年部	
2	火		政策	
3	水		企画	G
4	木		経営労働	
5	金	福工ガイダンス	組織	
6	土			
7	日			
8	月			
9	火	Bingo Job Lab	求人社員教育	E
10	水		バリアフリー	
11	木		地域内連携推進	
12	金		環境経営	
13	土	役員研修大学		
14	日			
15	月	県理事会		I
16	火	正副		ダイア
17	水			D,F,K,S
18	木			A,B
19	金			P
20	土			J
21	日			
22	月		総務	
23	火		広報	
24	水			
25	木			
26	金			
27	土			
28	日			
29	月			事務局年末年始休業(～1/4)
30	火			〃
31	水			〃

A地区会

A地区忘年会

日時：12月18日(木) 19時00分開会
会場：元町ホール 会費：無料
報告者：2025年度入会の新会員の皆さん
今年入会した方の自己紹介、会社紹介を含む報告をしていただいた上で、今年一年を振り返りながら会員同士の交流を深めていきたいと思います。

教育と挑戦が拓く海外人材共存の未来 指導力を磨き、共に育つ組織変革への道

日時：12月18日(木) 19時00分開会
会場：ローズコム 会費：無料
報告者：福山ステンレス鑄工(株) 森川 弘基 氏
教えられ動く組織から、自ら考え動く組織へ。外国人への依存ではなく共存へ。福山の今後の採用、人手不足対策の解決のヒントになる例会とします。

俺の経営課題って本当にこれ！？ ～気づかないまま採用したらこうなっちゃいました～

日時：12月17日(水) 19時00分開会
会場：市民参画センター 会費：無料
報告者：(株)ホームコネクト 岩永 啓嗣 氏
採用を「理念を共有し共に成長する仲間づくり」と捉え直し、ホームコネクトの役員の立場で意見をいただき自社の採用にも活かしてもらうことを目的とします。

年度振り返り&懇親例会

日時：12月9日(火) 19時00分開会
会場：又来軒 福山ニューキャッスルホテル 店 会費：8,000円
報告者：(有)岡村商運 岡村 龍次 氏
今年度を振り返り、発表者に事後報告をしていただき懇親を深めます。

忘年例会

日時：12月17日(水) 19時00分開会
会場：元町ホール 会費：6,000円
忘年会を通じて、会員同士の懇親を図ります。

望年例会

日時：12月3日(水) 19時00分開会
会場：炉端焼き だるま 会費：6,000円
懇親を深めることを主な目的とし、年内を振り返りざっくばらんに語りあいます。

寒さに負けない強靱な肉体を作り、パワフルに2026年を過ごすための肉活体験 兼 新入会員歓迎会

日時：12月15日(月) 19時00分開会
会場：バンズグリル 会費：5,000円
報告者：バンズグリル 小川 尚範 氏
経営者たるもの寒暖差で体調不良を起こすことが無いよう、日々の食事の注意点を肉活師範の小川尚範氏から体験を通して学び、併せて新入会員歓迎会を開催します。

忘年例会

日時：12月20日(土) 18時00分開会
会場：福山城 月見櫓 会費：5,000円
1年間の反省、来年への抱負を語っていただく会を開催します。

みんなで作るK地区、K地区指針検討ミーティング

日時：12月17日(水) 19時00分開会
会場：事務局 会費：無料
講師：さかもと保険(株) 坂本 貴之 氏
どのような思いで同友会に参加しているのか、何を求めているのか、どのような地区会にしたいのか会員の声は反映されていません。所属する組織について考えます。

転機はチャンス、課題は希望 ～最終章に向けた経営の再構築～

日時：12月19日(金) 19時00分開会
会場：市民参画センター 会費：無料
報告者：山陽パッケージシステム(株) 小林 大敏 氏
創業50年、数々の転機を乗り越えて成長して来られました。現場のリアルな課題を共有し、自社の改革と承継に向けた“次の一手”を見つける例会です。

未来は自分の手で掴む ～行動で切り拓いた2人の現在地と未来～

日時：12月17日(水) 18時30分開会
会場：ジーベックホール 会費：無料
報告者：吉本氏、前岡氏
「営業したことない・会話苦手」というゼロ地点からスタートした吉本氏が、今では「動いている方が、何もしない時より不安が少ない」と語るようになった。行動する両氏の体験発表です。

B地区会

D地区会

E地区会

F地区会

G地区会

I地区会

J地区会

K地区会

P地区会

S地区会

総務

日時：12月22日(月) 19時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：支部活動費執行状況の確認
各地区会例会の企画・報告
全地区合同役員会の企画

組織

日時：12月5日(金) 19時00分開会
会場：食辛房駅家店 会費：5,700円
議題：仲間づくりの進捗確認
トムソーヤの大冒険準備・確認

企画

日時：12月3日(水) 19時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：11月支部例会の振り返り
新春講演会互礼会の企画
経営者大賞の準備 他

広報

日時：12月23日(火) 19時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：支部報12月号について
支部報1～2月号の企画編集
今後の支部報について

経営労働

全県共通経営指針基礎講座
「第4講 経営方針 Part3」
日時：12月4日(木) 19時00分開会
会場：福山事務所・サテライト会場・Zoom
会費：無料(テキスト代実費)
講師：バンズグリル 小川 尚範 氏

求人社員教育

日時：12月9日(火) 18時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：求人活動、社員教育活動の計画

政策

日本政策金融公庫福山支店 懇談会
日時：12月2日(火) 19時00分開会
会場：事務局 会費：無料 定員：30名
日本政策金融公庫福山支店から講師をお招きし、他の金融機関との違いや融資を受ける際の注意点などをお話しいたします。委員以外の方もご参加ください。委員会は同日18:30から行います。

バリアフリー

日時：12月10日(水) 18時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
定員：事務局20名、Zoom定員なし
報告者：(株)Saaave 代表取締役会長 星山忠俊氏(埼玉)
出所者をはじめとした就職困難者の就労、支援のあり方について学びます。委員以外の方もご参加ください。

環境経営

日時：12月12日(金) 19時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
勉強会：「環境保全型企業づくり×環境保全型地域づくり」
講師：サステナブルパートナー 居木義典氏(徳島同友会)

地域内連携推進

日時：12月11日(木) 19時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
勉強会：「知っていますか？ JICA Biz」

家業から企業へのシンカ

青年部

日時：12月1日(月) 19時00分開会
会場：ローズコム 会費：無料
報告者：田坂京華園(有) 田坂 壽臣 氏
田坂京華園の経営環境を良くし、社員にも自社に持つて帰り、活かす目的のもと開催します。同友会青年部活動を有効活用していきましょう。

女性部

※今月はお休みです

有志の勉強会

ダイヤモンドクラブ
業界の情勢について③
日時：12月16日(水) 19時00分開会
会場：太下木型製作所 会費：無料
報告者：参加者全員
自社を取り巻く情勢に対する課題と対策を報告し合います。